取扱説明書

スピーカーシステム

型名 **SX-WD10**

本機は、スピーカーユニットに天然木を使用しています。
そのため、外観が一台ごとに異なります。

お買いあげいただき、ありがとうございます。

⚠ ご使用の前に

この**「取扱説明書」**をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に 2 ページの「安全上のご注意」「ご使用の前に」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

目　次

LVT1383-001A

安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

- 絵表示の説明

注意をうながす記号

一般的注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

行為を指示する記号

一般的指示

⚠警告

■ ネジをはずしたり、分解、改造したりしない

分解禁止

●内部の点検や修理などは、販売店にご依頼ください。

■ 本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない

●頭からかぶると窒息の原因となります。

■ スピーカーは定格入力を超えるアンプに接続しない

●スピーカーの定格入力や定格インピーダンスに不適合のアンプで使用すると、火災、感電の原因となります。ご使用の際は取扱説明書をよくお読みください。不明な点がありましたら、販売店やサービス窓口にご相談ください。

⚠注意

■ 不安定な場所に置かない

●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■ スピーカーに乗ったり、もたれかからない

●特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

■ 接続するときはアンプの電源を切る

●スピーカーをアンプに接続する際はアンプの電源を必ず切ってください。電源が入った状態でコードをショートさせると、アンプが故障したり、火災、感電の原因となることがあります。

■ はじめから音量を上げすぎない

●アンプの電源を入れる前に、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり聴力障害などの原因となることがあります。

■ 長時間、音が歪んだ状態で使用しない

●スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

■ 音楽鑑賞以外には使用しない

●リスニングルームの音響特性の測定など、音楽鑑賞以外の用途には使わないでください。スピーカーを破損したり、火災の原因となることがあります。

■ 本機の上に重い物を置かない

●テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり落ちたりして、けがの原因となることがあります。

ご使用の前に

■ 設置上の注意

●キャビネットの変形･変色を防止するため、直射日光や湿気の多い所、冷暖房器の近くなどを避けて設置してください。

●スピーカーの振動でハウリングを起こすことがあります。できるだけレコードプレーヤーから離してください。

●本機はカラーテレビに対して色むらを起こさないように防磁処理をしたスピーカーですが、設置方法によっては色むらが生じる場合もありますので、設置の際は次の点に注意してください。

1. 本機と一緒にテレビを使用する場合は､必ずテレビの主電源スイッチを切った状態で設置してください。
   なお､テレビの主電源スイッチは､切ってから少なくとも30分後に入れるようにしてください。
2. テレビの種類によっては､色むらを生じることがあります。色むらを生じるときは､十分離して設置してください。

よい音で聞くためには

■ スピーカーシステム設置の配慮

●スピーカーシステムの再生音はリスニングルームの条件によって微妙に影響を受けやすいものです。設置時には、側面の壁から50cm程度離すことを、おすすめします。
これは本機をご使用になるリスニングルームの諸条件により変化しますので、上記を目安とし、音場が拡がり、音像がはっきりと定位する位置に設置することをおすすめします。

■ 音場の改善

●反射または共振を起こしやすい洋間では、厚手のカーテンやジュータンなどをお使いください。
また、スピーカーの正面（向かい側）が固い壁やガラス戸などの場合には、反射や定在波の発生を防ぐ目的で厚手のカーテンなどで吸音処理することをおすすめします。

■ ステレオを聞くときのエチケット

●ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

付属品の確認

ご使用になる前に本機の付属品をご確認ください。不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

●この製品には付属品のほかに、取扱説明書（本書）、保証書が添付されています。

品名	数量
スピーカーコード	1本（3m）
フット	3個
ベース	1枚
取り付け用ネジ	3本

お手入れについて

スピーカーシステムの手入れをするときには

●スピーカーシステムの汚れは柔らかい布（ネルなど）で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、中性洗剤でふき取り、乾いた布で仕上げてください。（ご使用の中性洗剤については、その注意書きにしたがってください）

●スピーカーの表面をベンジン、シンナーなどで拭いたりしないでください。変質したり、塗料がはがれることがあります。

「ウッドコーン」について

木製振動板「ウッドコーン」

ヴァイオリンやギター、ピアノ等、美しい音色を奏でる楽器の多くは木を使用しています。中でも無垢の木材は音の自然な減衰特性が特長で心地よい響きを生みます。

振動板の特性を評価する指標には「伝搬速度(音を伝える速さ)」と「内部損失(音を吸収する度合い)」があり、音の解像度やメリハリを高めるには、この相反する特性の値がともに大きく、バランスのとれた素材が理想とされています。この理想に近い素材が楽器にも使われている木材なのです。

今から20年前、一人の技術者が木の振動板を試作しました。扇形状の薄い木製シートを数枚貼り合わせてコーン(円錐)形状に造り上げた振動板は、オーディオ開発に携わる技術者の魂を揺り動かすほどの魅力的な音色でした。残念な事に、天然素材ゆえの品質、生産上の課題が大きく、量産化は実現できませんでした。

しかし、音楽への深い愛情とともに満足ということを知らない技術者の執念が、奇跡にも近い発想の転換を経て20年後、ついに量産化を実現させたのです。

このウッドコーンの能力を十二分に発揮させる為、マグネットやボイスコイル、フレームはもちろん、ネットワーク部の音響パーツ一つ一つを厳選し、高品位な音質再生を目指しました。

さらに、物理的性能だけではなく、音楽ソフトの制作現場、アーティストの思いを理解しているレコーディングエンジニアと協力して音づくりを行ってまいりました。

かつて技術者の夢であったテクノロジーと長年にわたり培ってきたクラフトマンシップ。

音楽を愛する全ての方に感動が魂を揺さぶるエモーショナルなサウンドをお届けします。

フットの取り付けかた

転倒等の事故防止のため、必ずフットを取り付けてご使用ください。

■ フットの取り付け作業上の注意

- フット又は本機を足の上に落とさないようにしてください。けがをする恐れがあります。
- フット又は本機を床に落とさないようにしてください。
  床に傷がつくことがあります。
- 本機に傷がつかないように床に厚手の布などを敷いて作業してください。
- 取り付けは２人で作業するか、倒れないようにして取り付けてください。
- 本機は長さがありますので、十分なスペースを確保してください。ぶつけて破損したり、傷がつくことがあります。
- スピーカーユニット部にはふれないでください。

■ フットの取り付け

1.本機をさかさまにする

- 本機をさかさまにして、底面を上にします。

本体が倒れないようにご注意ください。

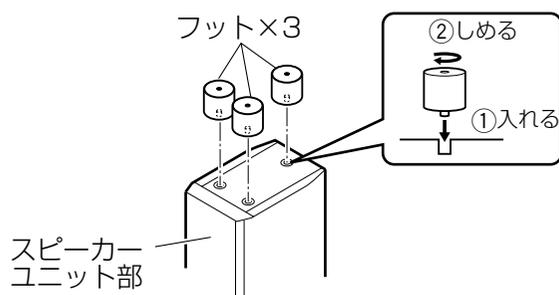
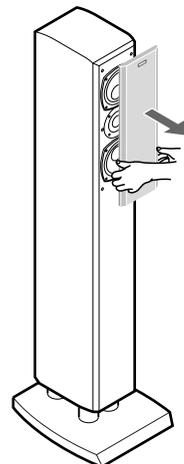
2. フットを取り付ける

- 本機の底面に、３つのフットを取り付けます。

3.ベースを取り付ける

- ⊕ドライバーを用意して下さい。
- フットにベースを付属のネジ3本で、しっかりと固定します。

サランボードについて

■ サランボードの取り外し

サランボードを取り外す場合は、サランボードの下側を両手で持ち上へ持ち上げるようにして取り外します。
また、サランボードを取り付ける場合は、サランボードの凹部と本体の凸部を合わせて確実に押し込んでください。
なお、その際は強く叩かないでください。

接　続

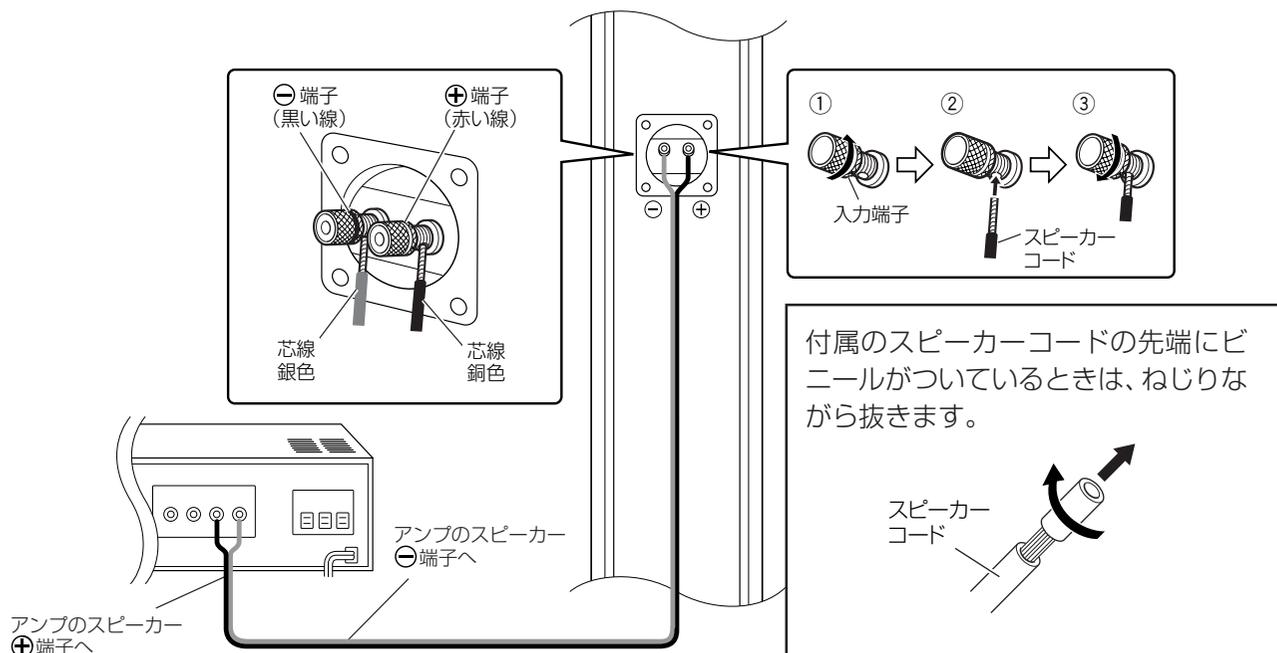
■ 接続のまえに

1. スピーカーシステムをアンプに接続するときは、アンプ側の電源を必ず切ってください。電源が入った状態でスピーカーコードをショートさせますと、アンプを故障させる恐れがあります。
2. 本機の定格インピーダンスは 6 Ωです。
   負荷インピーダンス 6 Ωが接続できるアンプをご使用ください。
3. 本機の最大入力（JIS）は 150 W です。
   これはミュージック・ソースを短時間入力できる値（実効値）で、スピーカーを破壊しない値です。

■ アンプのボリューム

一般的にミュージック・ソースを入力したとき、アンプのボリュームが半分以上になると、アンプの出力歪み（音が割れる）が増加して、スピーカーを破損させる原因となります。ボリュームは、半分以下でご使用ください。

■ 接続のしかた

下図をご参照の上、本機の入力端子とアンプのスピーカー端子をスピーカーコードで接続してください。

注意

スピーカーコードの極性（⊕、⊖）を間違えると、ステレオ感や音質がそこなわれますのでご注意ください。
接続したあと、コードを軽く引いて正しく接続されているか確認してください。

入力ソースについて

■ CD ／ DVD などのデジタル系ソースを再生する場合

レコードにはスクラッチノイズが、カセットテープにはテープヒスノイズがありますが、デジタル系ソースではノイズがほとんどなく無音から急に音楽信号が入ってきます。また、ダイナミックレンジが広く急激に音が立ち上がりますので、スピーカーに過大入力が加わらないようアンプのボリュームに注意してご使用ください。

■ 特殊な入力信号の場合

次のような特殊信号が本機に加えられると、過大電流による焼損断線事故の原因となることがありますので、十分注意してご使用ください。

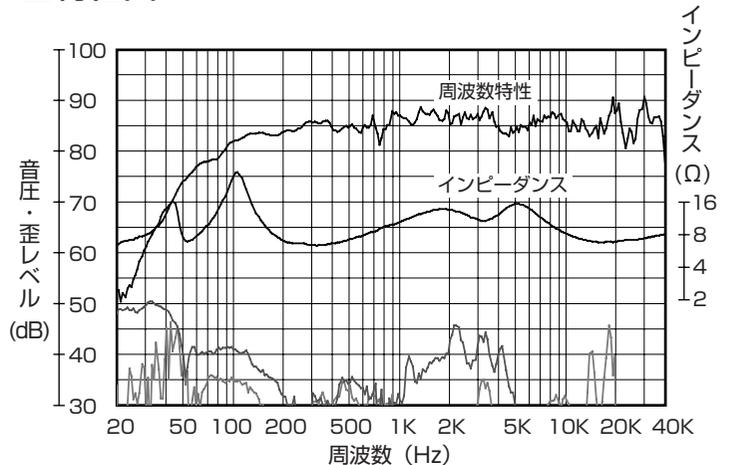
① FM チューナー選局時の大きなノイズ。
② テープデッキの早送りによる大出力の高い周波数を含んだ信号。
③ アンプやチューナーなどの “ON”、“OFF” 時のショック音。
④ 接続端子の抜き差し時のショック音。
⑤ カートリッジ交換時のショック音。
⑥ 発振器や電子楽器などによる連続的な高い周波数成分の音。
⑦ マイク使用時に起こりやすいハウリングの音または発振音。
⑧ 引き回されたスピーカーコードによるアンプの高域発振出力。

仕　様

種　　類	： 2 ウェイ 3 スピーカー バスレフ型　防磁形（JEITA）
使用スピーカー	
中・低域用	： 11.0 cmウッドコーンスピーカー×2
高　域　用	： 2.0 cm ウッドドームスピーカー
定格入力（JIS）	： 37.5 W
最大入力（JIS）	： 150 W
定格インピーダンス	： 6 Ω
クロスオーバー周波数	： 3.8 kHz
再生周波数帯域	： 45 Hz ～ 50 kHz
出力音圧レベル	： 85.0 dB/W・m
最大外形寸法	： 幅 270 mm × 高さ 1101 mm × 奥行 320 mm
質　　量	： 16 kg（1 本）

JEITA は、電子情報技術産業協会の規格による数値です。

（注） 本機の仕様および外観は、改善のために予告なく変更することがあります。

■特性図

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌 S.C.	(011) 898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166) 61-3659	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157) 25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154) 24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155) 24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館 S.S.	(0138) 52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北			
青森	青森 S.C.	(017) 723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178) 44-4521	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172) 28-0165	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019) 637-0121	盛岡市津志田西2-3-20
	水沢 S.S.	(0197) 22-2773	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018) 824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186) 43-0980	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182) 32-8873	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022) 287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形 S.C.	(023) 642-0279	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234) 26-7145	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024) 952-6331	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246) 27-7991	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
関東・甲信越			
群馬	前橋 S.C.	(027) 255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第二棟1F
栃木	宇都宮 S.C.	(028) 638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸 S.C.	(029) 246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043) 202-0263	千葉市中央区中央3-9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏 S.C.	(04) 7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047) 353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03) 5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	練馬 S.C.	(03) 3993-7520	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03) 3727-9385	大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426) 46-6914	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	CSセンター	(03) 5631-2235	墨田区八広五丁目11-1
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮 S.C.	(048) 654-5241	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048) 553-5105	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜 S.C.	(045) 651-0403	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎 S.C.	(044) 975-1879	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚 S.C.	(0463) 36-2160	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C.	(042) 776-2052	相模原市古淵3-7-4
	横浜 T.C.	(046) 234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	甲府 S.S.	(055) 237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	新潟 S.C.	(025) 242-3431	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258) 24-8391	長岡市下下条2-1366-1
長野	長野 S.C.	(026) 221-6583	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263) 25-9165	松本市庄内2-4-21
東海			
静岡	静岡 S.C.	(054) 282-4141	静岡市駿河区中田本町62-31 中田ビル1F
	沼津 S.S.	(055) 922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053) 421-3441	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568) 25-3235	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564) 25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋 S.S.	(0532) 64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058) 274-1947	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593) 52-0841	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059) 229-7780	津市大字藤方485-18

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北陸			
富山	富山 S.S.	(076) 425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076) 269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776) 53-6916	福井市西開発3-211
近畿			
滋賀	滋賀 S.S.	(077) 582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都 S.C.	(075) 644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773) 22-8664	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	奈良 S.S.	(0742) 35-0935	奈良市大宮町6-3-10藤本ビル1F
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072) 254-2881	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06) 6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073) 472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S	(0739) 22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸 S.C.	(078) 252-0562	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792) 34-3833	姫路市中地南町11-1
中国			
岡山	岡山 S.C.	(086) 243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082) 243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084) 931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083) 973-3708	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834) 27-1331	周南市野上町2-35
島根	松江 S.C.	(0852) 31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	鳥取 S.S.	(0857) 23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
四国			
香川	高松 S.C.	(087) 866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.S.	(088) 622-7387	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088) 882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山 S.C.	(089) 923-0372	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895) 20-1018	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄			
福岡 佐賀	福岡 S.C.	(092) 431-1261	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942) 39-3495	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093) 921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095) 862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956) 33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.C.	(097) 543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本 S.C.	(096) 353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985) 24-5401	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982) 35-7077	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099) 282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098) 898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0405

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

保証とアフターサービス（必ずお読みください。）

保　証　書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保　証　期　間

お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**にご相談ください。

ご転居等、保証書記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合には、7ページの**「ビクターサービス窓口案内」**をご覧のうえ最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

修理を依頼されるときは　出張修理

お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	スピーカーシステム
型　名	SX-WD10
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も併せてお知らせください
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　－

修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
7ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル 0120-2828-17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話（045）450-8950 FAX（045）450-2275 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

- ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

AV&マルチメディアカンパニー

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0405NSMSANHCE